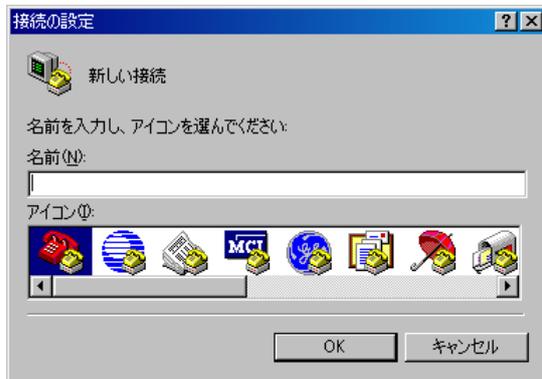


# Windows 標準通信ソフトウェア ハイパーターミナルを用いた外部機器制御について

## ハイパーターミナルの起動

1. Windows メニューの[スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [通信]でハイパーターミナルを選択します。
2. 接続の設定ダイアログボックスが表示されます。



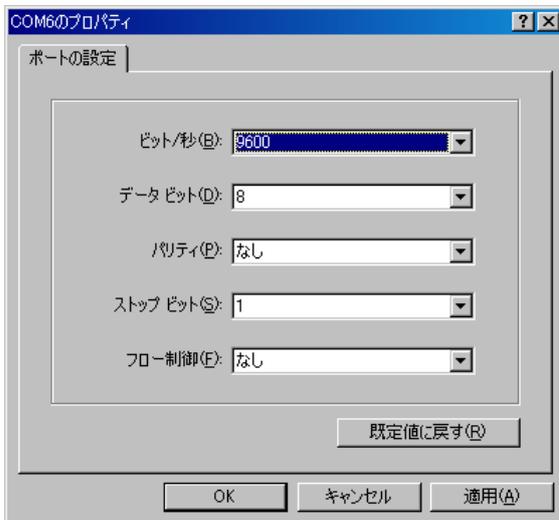
3. 名前の欄に適切な名称を入力、アイコンリストから好みのアイコンを選択し[OK]ボタンをクリックします。



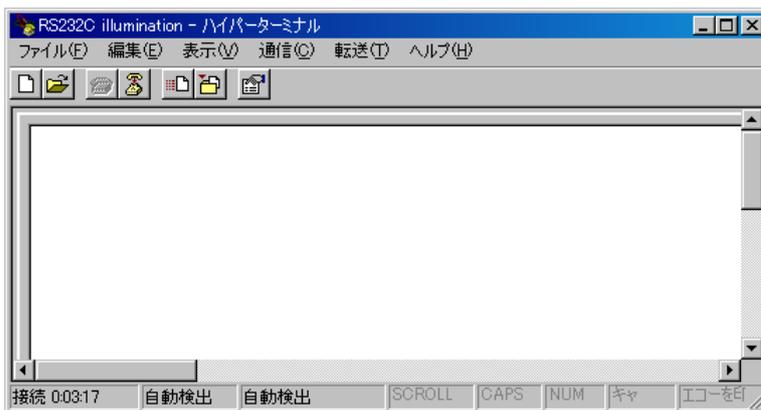
4. ダイアログボックスが切り替わりますので接続方法のリストから使用するシリアルポートを選択し[OK]ボタンをクリックします。



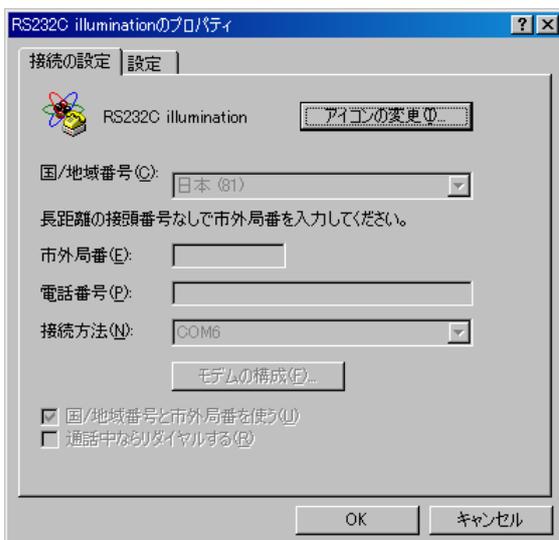
5. 使用するシリアルポートのプロパティ設定ボックスが表示されますので、接続機器に合わせボーレート（ビット/秒）、データビット、パリティ、ストップビット、フロー制御の設定を行い、[適用(A)]ボタンを一度クリックした後、[OK]ボタンをクリックします。



6. ハイパーターミナル操作ウィンドウが表示されます。



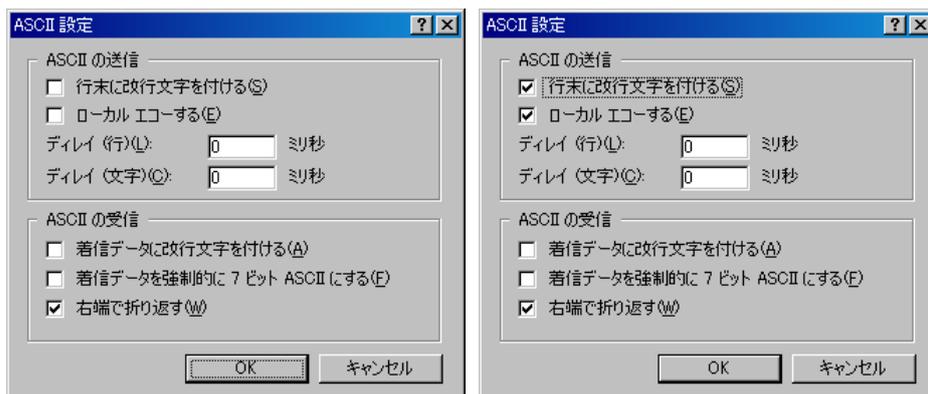
7. [ファイル(F)]メニューから[プロパティ(R)]を選びます。



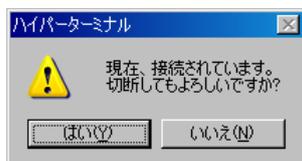
- 設定タブをクリックします。



- ASCII 設定(A)ボタンをクリックし、ASCII の送信の行末に改行文字をつける(S)とローカルエコーする(E)の両方にチェックを入れ、[OK]ボタンをクリックします。



- プロパティボックスに戻りますので、今一度[OK]ボタンをクリックします。
- 制御を行いたい機器のマニュアルを手元に準備し、コマンドをキーボードより入力します。
- テストが終了したら、[ファイル(F)]メニューからハイパーターミナルの終了(X)を選びます。



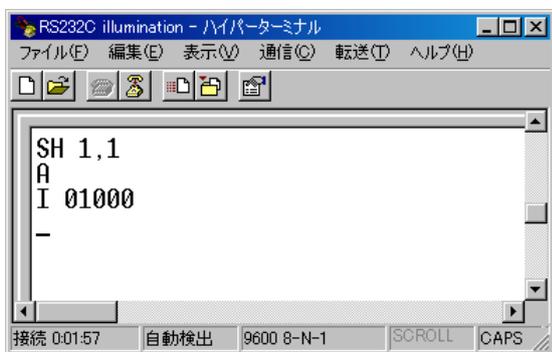
- 確認ボックスが表示されたら、[はい(Y)]ボタンをクリックします。

例) シグマ光機株式会社製 FSH-C 4軸シャッターコントローラを用いたテスト  
**シャッター開閉制御**

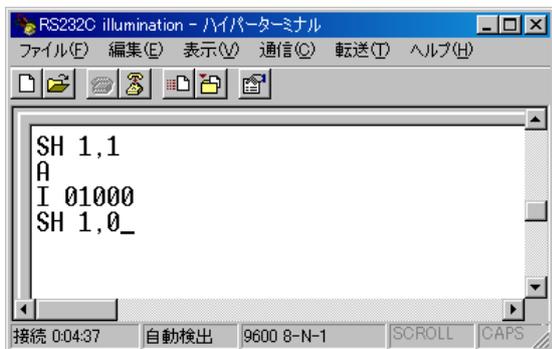
CH1 のシャッターを開くため、大文字で SH 1,1 と入力し Enter キーを押します。



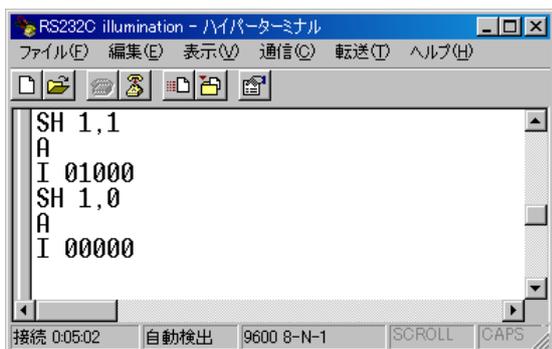
シャッターが開き、リターンコードが返信されます。



シャッターを閉じるため、大文字で SH 1,0 と入力し Enter キーを押します。



シャッターが閉じ、リターンコードが返信されます。

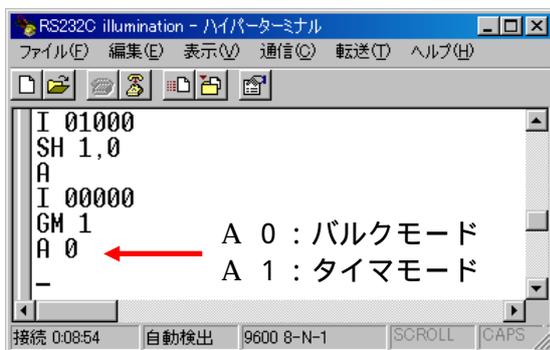


## シャッター動作モードの変更

現在のシャッター動作モードを確認するため、大文字で GM 1 と入力し Enter キーを押します。



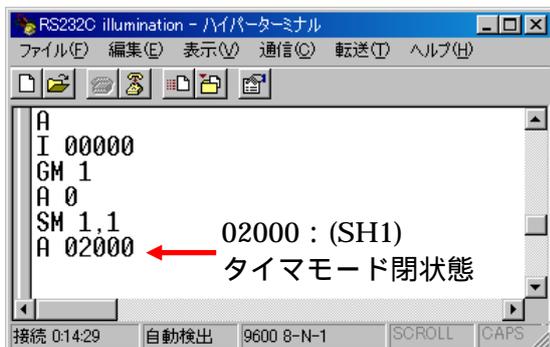
リターンコードが返信されます。



タイマモードに変更するため大文字で SM 1,1 と入力し Enter キーを押します。



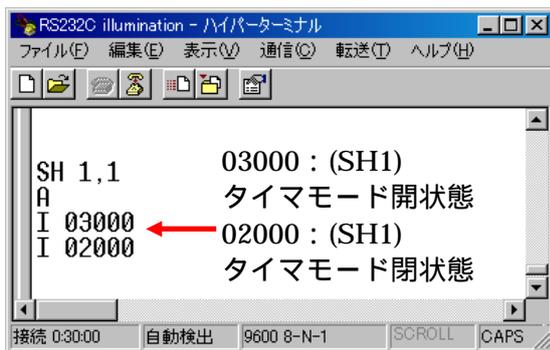
リターンコードが返信されます。



シャッターを開くため、大文字で SH 1,1 と入力し Enter キーを押します。



シャッターが開き、あらかじめ設定されているタイマ時間後、シャッターが自動的に閉じます。



## タイマモード値設定

タイマモード値を変更するため、大文字で **ST 1,0050** と入力し Enter キーを押します



```
RS232C illumination - ハイパーターミナル
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 通信(C) 転送(T) ヘルプ(H)
SH 1,1
A
I 03000
I 02000
ST 1,0050_
接続 0:35:40 自動検出 9600 8-N-1 SCROLL CAPS
```

リターンコードが返信されます。



```
RS232C illumination - ハイパーターミナル
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 通信(C) 転送(T) ヘルプ(H)
SH 1,1
A
I 03000
I 02000
ST 1,0050
A
-
接続 0:35:58 自動検出 9600 8-N-1 SCROLL CAPS
```

タイマ値の単位は **0.1 秒**です。

コマンドの詳細は、必ずマニュアルを参照してください。